

クラス担任通信

～後期授業始まる～

ガイダンスについて

後期授業開始にあたり、ガイダンスが8月25日に2回に分けて行われました。まず、主任・担任（主任：武市 収、担任：大山哲生、三澤麻衣子、尾崎愛美）から挨拶があり、その後対面授業で使用するフェイスシールドや学生手帳、書類などの配布を行いました。続いて主任から学業および学生生活に関してそれぞれ連絡と注意があり、最後に、第2学年のクラス代表者（大塚正志くん、齋藤 円さん、角 賢典くん、山岸佳子さん）の紹介を行いました。コロナ禍で、ガイダンスに参加することに不安があった学生もいたと思いますが、久しぶりにみなさんの元気な顔を見られてよかったと思う日でした。後期もがんばっていきましょう。



後期授業の様子

前期は、全て遠隔で授業を行いましたが、後期は主に講義を遠隔で、実習を対面で行っています。

【口腔組織実習の様子】

口腔組織実習では1学年を4つに分け、感染に配慮して写真のように実習を行っています。



【生化学実習の様子】

生化学実習では、前期の講義で学修した糖質代謝、脂質代謝、タンパク質代謝および核酸についての関連した実験を通して理解を深めることを目的として実習を行っています。今年度は糖質代謝実習のみ対面方式で行い、空腹時の血中グルコース濃度を比色法で定量する方法を実際に体験してもらいました。通常の半分の人数で、さらにパーソナルスペースを保ちながらの実習でしたが、学生たちはグループで協力しコミュニケーションを取りながら久しぶりの対面の実習を満足している様子でした。また教員も学生たちとコミュニケーションをとりながら実習を行うことができたことと満足しています。おわりに今年度、実習の方法や内容がいままでとは大きく変わりました。学生たちが大きな変化を理解し、対応してくれたことに感謝しています。（生化学：田邊）

進級判定について

進級は「各教科の成績」と「統合試験」で判定されます。教科の「評価方法」は教科により異なりますので、シラバスをご参照ください（URL：<https://www.dent.nihon-u.ac.jp/education/syllabus/>）。なお、例年行われていた定期試験は本年度行われませんので、「評価方法」に記載はありません。

「統合試験」は例年行われており、第2学年で学んだすべての学修内容が出題範囲とされ、歯科学に関する知識の総合的な理解をみる試験です。本年度も2月15・16日に対面で実施されます。

学年主任からひとこと

第2学年では、人体解剖学をはじめ組織学や生理学といった、歯科医師に必要な基礎的科目を履修します。頭頸部のみならず全身について学修しますが、国家試験で多く出題される科目でもあり、とても重要です。初めて学ぶことばかりで苦労しているようですが、今後専門的な科目が増え、必要な勉強の礎を築く大切な学年でもあります。充実した学生生活ができるよう、支援してまいります。